

# 放射能関係のお知らせ

2018年12月5回(D週)

お届け日:2018/12/26~12/30  
発行日:2018/12/10



本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/12/5(水)までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

## ●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果物	いちご	品目で検査済	たまつくり・はが野・とのみ・うつのみや・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	ゴールド農園・八峰園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・サンファーム・青木
果菜	かぼちゃ	果菜類で検査済	八街・佐久ゆうき
	きゅうり	品目で検査済	谷田部・沃土
	スナップえんどう	果菜類で検査済	八千代・村悟空・サンド旭・佐原・和郷
	トマト	品目で検査済	葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ・村悟空
	ピーマン	果菜類で検査済	沃土
	ミニトマト	品目で検査済	谷田部
		品目で検査済	あゆみの会・野菜くらぶ(福島)・元気会・沃土・サンド旭・和郷
		果菜類で検査済	八千代・村悟空
	大葉	果菜類で検査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	野菜くらぶ・三浦EM・南伊豆
葉菜	小松菜	品目で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・埼玉産直・沃土・村悟空・海上・佐原・八街・和郷・風土の会・遠州
		葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・群馬モグラ・佐原・八街・風土の会
	サニーレタス	品目で検査済	たまつくり・やさと・野菜くらぶ・草の会・南埼玉・沃土・和郷
		葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済	あゆみの会・夢みなみ・たまつくりレインボー・元気会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・和郷・八街・風土の会
		葉菜類で検査済	有機農法ギルド・ファーマン
	七草セット	検査予定	七草会
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ・和郷
	ねぎ	品目で検査済	常総・たまつくり・八千代・利根川・南埼玉・沃土・村悟空・佐原
	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・やさと・野菜くらぶ・八街・風土の会	
白菜	品目で検査済	谷田部・埼玉産直	
	葉菜類で検査済	八千代・常総産直・野菜くらぶ・八街	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・たまつくり・常総産直・八千代・野菜くらぶ・埼玉産直・南埼玉・沃土・海上・村悟空・サンド旭・佐原・和郷・八街	
ほうれん草	品目で検査済	草の会	
	葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・常総産直・有機農法ギルド・やさと・野菜くらぶ・利根川・沃土・八街・佐原・和郷・風土の会	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	みず菜	葉菜類で検査済	谷田部・葉菜野果・沃土・佐原
		品目で検査済	野菜くらぶ・佐原
	レタス	品目で検査済	谷田部・八千代・常総産直・南埼玉・沃土・海上・サンド旭・八街・和郷
		葉菜類で検査済	たまつくり・八千代・草の会・沃土・八街・海上・佐原
	かぶ	品目で検査済	谷田部・和郷・風土の会
		根菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・葉菜野果・清瀬
	ごぼう	品目で検査済	常総・やさと・和郷・佐原・風土の会
		根菜類で検査済	たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷
	さつまいも	品目で検査済	常総・谷田部
		根菜類で検査済	たまつくり・八千代・あゆみの会・佐原・風土の会・八街
根菜	里芋	品目で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド
		根菜類で検査済	村悟空・和郷
	しょうが	品目で検査済	葉菜野果・佐原・和郷
		根菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・あゆみの会・八千代・沃土・村悟空・八街・風土の会・海上
	大根	品目で検査済	葉菜野果
		根菜類で検査済	常総
	長芋	品目で検査済	谷田部
		根菜類で検査済	常総・有機農法ギルド・あゆみの会・常総産直・清瀬・グットファーム
	人参	品目で検査済	谷田部・たまつくり・やさと・葉菜野果・草の会・沃土・村悟空・和郷・佐原・八街・風土の会・農法の会・海上
		根菜類で検査済	八峰園・田子・ゆうき青森
にんにく	品目で検査済	常陸	
ほしいも	品目で検査済	有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・佐原	
れんこん	品目で検査済		

## ●青果の検査について

\*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。  
\*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。  
\*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

\*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています

## ●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、okraなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

## ●きのこ類 放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	ささかみ・雪国
4種のきのこセット	品目で検査済	谷田部・雪国・丸金グループ *谷田部の生しいたけからは放射能が検出されました

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。\*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

## ●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2018/12/5	6.9
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 266	岩手県産乾しいたけ(徳用)	2018/7/25	5.1
きなり	岩手県産乾しいたけ(厚肉こうしん)		
乾物屋 138495			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2018/10/17	4.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

\*白米で検査したところ、不検出でした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
れんこん	常総	2018/8/22	6.4
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 465	すきやき鍋(うどん付き)セットのしいたけ	2018/12/5	6.9
きなり			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト yumyum 451 122599	冷凍さつまいもスティック	2018/11/6	1.2
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
食薬 120粒:185493 240粒:185507	ブルーベリー&ルテイン	2017/12/5	8.2
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

# 原子力損害賠償法成立

「原子力損害賠償法」は賠償措置額 1200 億円のまま延長が成立しました。  
2016 年度の経済産業省の試算では、22.6 兆円となっていました。それには、まったく足りない状況です。

もう二度と事故は起こさないつもり・・・なのかもしれませんが、製造から 40 年を過ぎた原発で大きなトラブルなく、あと十年単位の長いスパンで稼働させることが現実的とは思えません。

## 3.11 原発事故は自然災害？人災？

2018/10/30 に第 33 回公判の東電刑事裁判で、当時の会長は、「津波の到達は予測できず」として、原賠法の免責事項での「異常に巨大な天災地変または社会的動乱によって生じたもの」であることを主張しているようです。情報元：詳報東電刑事裁判「原発事故の真相は」  
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/toudensaiban/>

「異常に巨大な天災地変」というのは、人類が予想していないような大きなもの、全く想像を絶する事態をさしており、「関東大震災の 2 倍ないし 3 倍程度の地震をも飛び越える大きな地震」と説明されています。つまりは過去に発生している地震では、これにあたらぬという見解があります。

(過去におこった M9 レベルの地震：貞観地震、チリ地震、スマトラ沖地震)

今回の原発事故は、津波の大きさについて、何度か予測され、警告されていると言われており、予測できなかった天災ではないというのが専門家らの見解です。

## 本来はどこが賠償するもの？

事故発生からすでに 7 年を経過した今、裁判が行われています。

賠償とは、どの範囲をいうのでしょうか。

損害項目としては、原発事故と相当因果関係にある損害としていて、生命および身体の損害、精神的損害、営業損害、就労に関する損害などがあげられています。

原発訴訟で争点となる損害項目は、被曝のリスクと深刻な身体被害の危険、避難中の精神的損害の賠償、地域コミュニティの破壊、移住の費用、区域外避難者への賠償などとなっています。

これだけ多くのことが対象になるにもかかわらず、上限 1200 億円のまま原賠法は成立し、のち 10 年このままとりました。

お金がなければ、国民から広く集めればよいという考えでは、古い原発を稼働しつづける対策として、あまりにも乏しい内容となっています。

参考：「原発事故の損害賠償」淡路剛久氏  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/tits/19/2/19\\_2\\_50/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/tits/19/2/19_2_50/_pdf/-char/ja)

## 避難の協同センター

区域外避難者への無償住宅提供の打ち切りを決定しています。避難者と帰還者・在住者への公平性などさまざまな感情的な問題も見据えての対応のようです。

原賠法の賠償額が手薄な状況であることは明確で、賠償が本当に被災にあったすべての人に納得できる内容なのかは疑問が残ります。

「避難の協同センター」では、区域外避難者の避難の権利を保障するための支援策を求める活動などをすすめてきています。

今後も、パルシステムでは、避難の協同への支援を行ってまいります。

避難の協同センター：<http://hinan-kyodo.org/>

連絡先：070-3185-0311 月～金 10:00～17:00

住まいのこと、暮らしのこと、法律のこと相談できます。

E-mail: hinankyodo@gmail.com

住所：〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9 (FoE Japan 内)

# 11 月の放射能検査状況

11 月の検査は、しいたけよりしいたけ 4 件 (8.4, 9.4, 10, 10Bq/kg) が検出されました。乳幼児用食品より冷凍さつまいもスティック 1 件 (1.2Bq/kg) が検出されました。それぞれ検出数値は自主基準内でした。その他に検出された食品はありませんでした。

放射能検査の状況 (検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	11 月	検出状況		11 月	検出状況
青果	40 (0)		卵	0 (0)	
しいたけ	5 (4)	しいたけ 8.4, 9.4, 10, 10 Bq/kg	魚介類	17 (0)	
その他のきのこ類	0 (0)		飲料水・飲料	16 (0)	
米・米飯類	3 (0)		乳幼児用食品	37 (1)	冷凍さつまいもスティック 1.2Bq/kg
牛乳・乳製品	5 (0)		その他加工食品	180 (0)	
肉類	0 (0)		合計	305 (5)	

## 2018 年度の放射能検査の状況 (2018 年 4 月～)

青果	常総センターのれんこんより 1 件 (6.4Bq/kg) で自主基準内の検出がありました。
しいたけ、他のきのこ	しいたけより (5.3～22Bq/kg) で自主基準内の検出がありました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2018 年産米は、8 月より JA 君津の千葉ふさおとめから検査が始まり、いままで JA 君津、JA 魚沼みなみ、JA ささかみ、JA つくば市谷田部、JA こまち、JA 北蒲みなみ、オーリア 21、JA えちご上越、JA 庄内たがわ、JA みどりの、JA 津軽みらい、南埼玉、JA 山形おきたま、JA 秋田ふるさと、JA いわて花巻、庄内協同、JA 会津よつば、JA 佐渡、花咲農園、健診の郷の産地で検査が終了し、不検出でした。栃木の日本の稲作を守る会より 2 件玄米で検査を行い 1 件 (4.4Bq/kg) 自主基準内で検出されました。白米にして検査を行ったところ、不検出でした。米は白米で供給します。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。
牛乳、肉	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
卵	今年度はまだ検査を行っておりません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより 1 件 (1.2Bq/kg) が自主基準内で検出されました。2017 年度に産直野菜チップス (さつまいも・にんじん) より 1 件 (1.2Bq/kg) が自主基準内で検出されました。まだ、今年度は検査を行っておりません。
その他加工食品	<p>&lt;お料理セット&gt; 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに 1 検体の検査を行っていません。2017 年より yumyum で掲載が開始され、検出下限値は 1Bq/kg で行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけ (4.3・8.2Bq/kg) から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。</p> <p>&lt;大豆加工品&gt; 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。</p> <p>&lt;乾物&gt; 2018 年 7 月に岩手県産乾燥しいたけ (5.1Bq/kg) から自主基準内で検出がありました。</p> <p>&lt;その他&gt; 2017 年度にサプリメントのブルーベリー &amp; ルテイン (8.2Bq/kg) から自主基準内で検出がありました。今年度はまだ検査を行っておりません。</p>

# パルシステムの放射能検査について

## ● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を 2 台導入して計測しています。yumyum および赤ちゃん & Kids の OK 食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を 1Bq/kg まで検査しております。

検出限界 (セシウム 134, 137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

## ● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産 (新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

## ● 独自ガイドライン (自主基準) と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン (自主基準) を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます

自主基準 (独自ガイドライン) (セシウム 134, 137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料茶、牛乳、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
飲料、乳製品、米			一般食品 100
青果類 (きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類 (しいたけ除く)	25	50	
しいたけ	100	100	

\* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)

\* 乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。